

草加市青柳2-19-10 ☎ 936-1234(代)

http://www.scs-kk.co.jp



地球環境を考え、行動します。

デュプロ株式会社

☎ 048-666-4610

http://www.duplotype.co.jp

**記者ノート**

読者と共に歩む



三郷市在住の現役の大学図書館司書が、レンタルスペースを利用して定期的に古本販売とワークショップ（体验型講座）を行っており、注目されている。本を読む楽しみを見つける、きっかけづくりの一場に個人的に始めたもので、お薦めの本を並べ、さまざまな読書相談にも応じている。同市は「日本一の読書のまち」を宣言しているだけに、書店が減少する中で、新たな「まちのライブラリーアー」として話題を呼んでいる。



話題の店は、同市早稲田2の住宅街のレンタルスペースで、月に1回オーブンする、古本とワークショップの店「ブルーバードブックス」。運営するのは、同市三郷の大学図書館司書、草薙みちるさん（42）。草薙さんは、イベント関係の仕事をしていたが、「本について勉強したい」と、千葉県松戸市の聖徳大学の通信制図書情報コースに入校。2年間、学んで司書と芸員の資格を取得し、今春卒業して転職した。移動古本屋「など」の読書支援事業を構想し、第一

読書の楽しみ発見の場に

THE TOBU YOMIURI SHIMBUN 第2134号

2021年(令和3年)11月22日(月)

発行所 東武よみうり新聞社

〒343-0843 埼玉県越谷市蒲生西町3-9

電話 (048)987-0611

Fax (048)987-0614

週刊

障害児らに「芸術」届ける

草加「草の童の会」

市民が支援団体を結成

RCC協賛

27日に初の人形劇公演



公演の打ち合わせを行う「草の童の会」のメンバー

同会結成の中心となつたのは、市内で舞台芸術作品の鑑賞を中心に、さまざまな親子交流の活動をしていなるNPO法人「子ども広場」の活動を続ける中、有料で鑑賞できる子どもたちがいる反面、障害を持った子どもたちや、貧困家庭の子どもたちが、舞台芸術などを楽しむ機会が少ないことを痛感してきた。

そこで、「子どもたちに無料で芸術作品を届けよう」と、市内の福祉活動を行う他団体に呼びかけた。

その結果、子ども食堂を通じて地域交流の場作りを目指す「子ども応援団マイカ」や、心身障害者の情報交換、相互の助け合いに力を入れる「草加市光陽育成

会」の会員がいたことが、活動を通じて知り合った劇団「テフ・ペットシアター・ひとみ」から「草の童の会」の事務局長の三澤さん（50）。三澤さんは、「おやこ劇場」の活動を続ける中、有料で鑑賞できる子どもたちがいる反面、障害を持つ子どもたちや、貧困家庭の子どもたちが、舞台芸術などを楽しむ機会が少ないことを痛感してきた。

そこで、「子どもたちに無料で芸術作品を届けよう」と、市内の福祉活動を行う他団体に呼びかけた。

その結果、子ども食堂を通じて地域交流の場作りを目指す「子ども応援団マイカ」や、心身障害者の情報交換、相互の助け合いに力を入れる「草加市光陽育成

会」の会員がいたことが、活動を通じて知り合った劇団「テフ・ペットシアター・ひとみ」から「草の童の会」の事務局長の三澤さん（50）。

三澤さんは、「おやこ劇場」の活動を続ける中、有料で鑑賞できる子どもたちがいる反面、障害を持つ子どもたちや、貧困家庭の子どもたちが、舞台芸術などを楽しむ機会が少ないことを痛感してきた。

そこで、「子どもたちに無料で芸術作品を届けよう」と、市内の福祉活動を行う他団体に呼びかけた。

その結果、子ども食堂を通じて地域交流の場作りを目指す「子ども応援団マイカ」や、心身障害者の情報交換、相互の助け合いに力を入れる「草加市光陽育成

会」の会員がいたことが、活動を通じて知り合った劇団「テフ・ペットシアター・ひとみ」から「草の童の会」の事務局長の三澤さん（50）。

三澤さんは、「おやこ劇場」の活動を続ける中、有料で鑑賞できる子どもたちがいる反面、障害を持つ子どもたちや、貧困家庭の子どもたちが、舞台芸術などを楽しむ機会が少ないことを痛感してきた。